



2015/06/25

### ◎本山寺の森林（高槻市原地区）

本山寺は役小角が開き、770年頃に開成皇子によって創建された山岳寺院です。

周辺のもみ・ツガ・アカガシ林などの天然林は大阪では唯一のまとまった暖温帯の植生である希少性、学術的価値から大阪府は1978年「自然環境保全地域（特別地区）」（14.32ha）に指定しました。

### ◎その森林が危機的状况に！

近年、北摂一帯でシカが増加し、その採食圧で植物が急速に消えつつあります。

草花だけでなく木の芽生えもなくなり、森林そのものの更新が危ぶまれています。



### 本山寺自然環境保全地域を考える協議会

会長：百済 寂仁（本山寺住職）

副会長：田口 圭介（TKK自然観察会代表）

金谷 薫（公益社団法人大阪自然環境保全協会 副会長）

事務局：大塚 陽一（新・里山講座担当）

監査：小柿 正武（NPO法人森のプラットフォーム高槻代表）

#### アドバイザー：

佐久間 大輔（大阪市立自然史博物館 学芸課長）

高柳 敦（京都大学農学研究科 准教授）

松井 淳（奈良教育大学 特任教授、

NPO法人森林再生支援センター理事長）

● 会員を広く募集しております！ ●

お問い合わせ先（事務局）

公益社団法人 大阪自然環境保全協会

電話06-6242-8720



# 大阪府自然環境保全地域 本山寺周辺の森林が 消失の危機に！



本山寺自然環境保全地域を考える協議会

## ◎わたしたちの取り組み

大切な森林を守るため2010年「本山寺自然環境保全地域を考える協議会」を結成しました。

- 植生保護柵の設置
- 植生やシカの生息状況調査
- 生態系への被害調査 ・ 野生動物の調査
- 観察会、勉強会、報告会

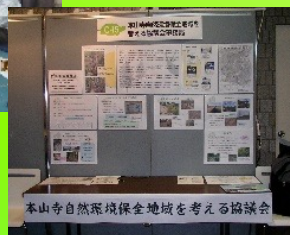
などを実施し、野生動物の保護管理のあり方や植生回復の方策を検討しています。



本山寺奥のモミ、ツガ、アカガシ林の一角に植生保護柵を設置



シンポジウムやイベントでシカの状況と森林保全の必要性をアピールしています



本山寺自然環境保全地域を考える協議会



周辺の自然を知ってもらうために観察会を実施

## ◎シカと森とヒトとの共生を目指して

野生シカの影響から広大な森林の植生を守るのは、個別に防除が可能な農地とは異なり、極めて困難です。そこでシカと森と人との共生を目指して、有識者や京都大阪森林管理事務所(国有林)、高槻市、地域の猟友会に働きかけ、2010年度より全周100m程度の植生保護柵をエリア内に3か所設置しました。約10年経過し、植生保護柵内の植生回復効果が現れてきました。

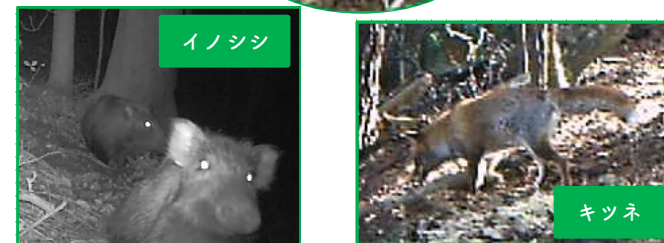
今後はさらに範囲を拡大した植生保護柵の設置も視野に入れていきます。

また2014年度より、隣接した本山寺国有林で箱罠、くくり罠での捕獲が開始され、年間10数頭の捕獲実績が出ています。



本堂北側 ハイキング道沿い植生保護柵 2015.10

植生回復 2020.10



確認された動物たち (撮影:池田 裕計)

## ◎今後の課題

シカの捕獲効果や適正な生息密度を検証し、これからの森林の在り方を把握するためには地道な調査の継続が必要です。また自然保護団体や研究機関、地域、猟友会など各主体との協働をはじめ、全般的な対策には行政の対応が不可欠です。



復活してきたシカの好物アオキ

